



住民参画による健康づくり計画に関する研究 看護職の質の向上に関する研究

保健福祉学部 看護学科

准教授 水馬 朋子 (みずま ともし)

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3417号室
Tel 0848-60-1272 Fax 0848-60-1272
E-mail mizuma@pu-hiroshima.ac.jp
* @は半角に置き換えてください。

専門分野： 公衆衛生看護学, 地域看護学

キーワード： 地域診断, 地域包括ケア, 住民主体

● 主な取り組み・活動

☆ 自主性に依拠した住民が住みやすいまちづくりを推進するにあたり、住民参画による主体的な計画策定の方法論について研究しています。まちづくりにあたっては、住民が主体的に役割を担い、行政と協働しながら地域の健康課題解決をする必要があります。

このため、地域特性に応じて、住民が主体的に活動する場の設定や条件の整備を行うとともに、住民自治のコーディネータ役として自治体職員が能力を発揮できるシステムの形成を支援しています。また、地域の健康課題を住民にわかりやすく伝えるために、統計資料等の「見える化」に取り組んでいます。

☆ 保健師教育においては、学生が主体的に学ぶ教育方法の検討や地域診断技法を活用した保健計画の策定における教育方法の研究に取り組んでいます。地域住民との交流経験の少ない学生が、住民の生活を具体的にイメージして健康課題を考える力をつけるために、地域住民との交流の機会を設けたり、シミュレーション教育等を取り入れるなど教育方法を研究しています。また、保健師現任教育では、地域包括ケアシステム構築の計画策定の研修を県の委託事業として取り組む中で、参加者の研修における課題を明確にし、教育効果を挙げる方法について研究をしています。

● 今後の目標・抱負

超高齢社会における保健師等看護職の役割として、住民が主体的に地域課題解決に取り組んだり、多職種及び自治体や関係機関が協働して地域包括ケアシステムを構築することが求められています。このシステム形成にあたり、住民や関係者並びに関係機関の役割と実践方法について研究を深めていきたいと思ひます。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

安心した子育てができるまちをつくるため、ネウボラの支援体制の整備、それに伴う人材育成や研修体制の整備について広島県から委託を受けて取り組んでいます。

子育て支援は、専門職だけでなく、地域全体でお互いさまの仲間づくりを築いていきたいと思ひます。

● これまでの連携事例・実績

☆自治体の健康増進計画等の策定の支援をしました。大崎上島町健康増進計画「健康おおさき21」、世羅町健康増進計画「健康せら21」、竹原市健康増進計画「健康たけはら21」竹原市食育推進行動計画「きんさい！食べんさい！竹原食物語」等の策定支援

☆三原市生涯活躍のまち推進事業の受託：「健康なまちづくり応援団育成プログラムの開発と評価に関する研究」

☆広島県看護教員養成講習会を広島県から委託を受けて、平成20年度から9か月の講習を専任教員として兼務している。